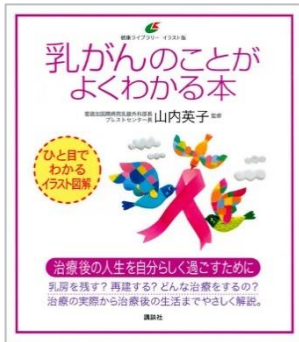


リボン運動(アウェアリボン)と 健康・医療

健康・医療情報コーナーでは、健康に関する資料や闘病記、寄贈雑誌などを紹介しています。

日々の健康について考えるための参考としてお役立てください。



書名:『乳がんのことがよくわかる本 イラスト版』

監修:山内英子

出版社:講談社 出版年:2018.11 請求記号:495.4/ニ(2階)

日本では、年間約九万人の女性が乳がんと診断されています。基礎知識から最新の治療方法までイラスト図解付きで分かりやすく説明されています。乳がんについて知ること、治療後の生活まで考えた治療を選ぶことも出来ます。

乳がんと直面した時に参考になる一冊です。



書名:『性感染症 プライベートゾーンの怖い医学』

著者:尾上泰彦

出版社:KADOKAWA 出版年:2020.11 請求記号:494.9/オ(1階新書)

国内で毎日4人も新規感染者が報告される身近な脅威、エイズ・HIV 感染症。

エイズはHIV(ヒト免疫不全ウイルス)の感染に気付かず、数年という期間を経て発症する性感染症の一種です。HIV 感染症は早期治療をきちんと行えば高い確率でエイズ発症を抑えられ、他人への感染も予防することが出来ます。



書名:『悩み・ときめく心臓 からだのキセキ・のびのび探究シリーズ』

監修:増谷聡 編著:WILL こども知育研究所

出版社:保育社 出版年:2020.4 請求記号:491.3/ナ(2階青少年)

誰もが知っているようで知らない身体の仕組み。特に身体の奥に有り、目に見えない「心臓」について疑問を感じたことはありませんか？

心臓が一日に送り出す血液の量や一生のうちにする拍動の回数、血圧、移植などの医学的疑問から、ときめいたり緊張したりしたときに胸がドキドキするわけなどの素朴な疑問まで、心臓についての様々な疑問がイラストでわかりやすく解説されています。



書名:『国立がん研究センターの大腸がんの本』

監修:金光幸秀 朴成和 斎藤豊

出版社:小学館クリエイティブ 出版年:2018.6 請求記号:493.4/コ(2階)

大腸がんと疑われたら一体何をすればいいのか？

治療法の選択肢が増える中、自分にはどの方法が最適なのかを解説を交えて紹介！ 国立がん研究センターが監修を行っているので、大腸がんについての気になる事、疑問もQ&Aで解説されています。

自分が、家族が、知人が診断されたときに、不安を和らげ、サポートしてくれる一冊です。



書名:『発達の気になる子の体の動き
しくみとトレーニング』

監修:川上康則
出版社:ナツメ社
出版年:2021.3
請求記号:378.8/ハ(2階)



運動に苦手意識をもっている子どもたちに楽しく簡単に体の動きの仕組みやトレーニングを紹介!

トレーニングの仕方がイラストで詳しく説明されているので、継続的に行うことができるような一冊です。

書名:『発達障害はなぜ誤診されるのか』

著者:岩波明
出版社:新潮社
出版年:2021.2
請求記号:493.7/イ(2階)



自分や家族が発達障害かもしれないと、不安に感じたことはありませんか?

発達障害は、症状の類似や複雑さから、うつ病などの他の病気に誤診されるケースが少なくないそうです。この本では発達障害についての解説とともに、誤診されやすい病気との症状の比較も行っています。

体験記

書名:『100%の前向き思考』
著者:猪狩ともか
出版社:東洋経済新報社
出版年:2020.8
請求記号:767.8/イ(1階)



地下アイドルグループ仮面女子の猪狩ともかさんを襲った突風は、彼女から下半身の自由を奪いました。両下肢麻痺となった彼女はそれでも明るく前を向きます。

ニュースでも大きく取り上げられ、多くの反響を呼んだ、たった四カ月でアイドル復帰するまでの軌跡とその後が綴られています。



書名:『うつ病九段
プロ棋士が将棋を失くした一年間』
著者:先崎学
出版社:文藝春秋 出版年:2018.7
請求記号:①/796/セ(1階闘病体験)



プロ棋士である著者によって、うつ病発症時から克服までの一年間が本人の言葉で詳細に記されています。

うつ病というと「心の病気」と捉えられがちですが、この本を読むと「脳の病気」であることがよく分かります。誰もが発症する可能性のあるうつ病がどのような病気なのかを知るために参考になる一冊です。

図書館が、特定の治療法をおすすめすることはありません。
また、治療法や治療方針など医療上のアドバイスはいたしません。
ご自身の症状などは、医師に相談することをおすすめします。

